

## 24 国産花きの生産・供給対策

【654（500）百万円】

### 対策のポイント

国産花きのシェア奪還と輸出拡大を図るため、生産・供給体制強化と需要拡大に向けた取組を進めるほか、オリンピック・パラリンピック東京大会での花きの供給体制をつくり、国内外へ国産花きをアピールします。

### <背景／課題>

- ・我が国の花きは、国際園芸博覧会の品種コンテストで最高得点を獲得するなど世界的に高い評価を得ており、輸出額は増加傾向にある一方、国内では安価な輸入切り花が増加しており、花き振興を図る上で国産シェアの奪還と輸出の拡大は重要な課題です。
- ・平成26年6月に制定された「花きの振興に関する法律」の理念に即し、国産花きの生産・供給体制の強化、輸出や需要拡大のための取組を推進することが必要です。
- ・また、真夏に開催されるオリンピック・パラリンピック東京大会において、ビクトリーブーケや空港などの公共スペース、競技会場等で装飾に使用する花きが不足しないよう、国産花きを安定的に生産・供給する体制の整備が必要です。
- ・さらに、国産花きの輸出拡大を図るため、平成28年4月から開催されるトルコのアンタルヤ国際園芸博覧会に出展し、国産花きをアピールしていく必要があります。

### 政策目標

- 国産花きの産出額の拡大  
(3,761億円(平成24年) → 5,000億円(平成32年))
- 花き輸出額の増大  
(96億円(平成25年) → 150億円(平成32年))

### <主な内容>

1. 国産花きイノベーション推進事業 532（500）百万円  
国産花きのシェア奪還と輸出拡大を図るため、①日持ち性の向上、コールドチェーンの確立、花束等の加工技術の向上等の生産・供給体制の強化、新需要の創出に向けた取組に加え、②真夏に開催される平成32年のオリンピック・パラリンピック東京大会において、ビクトリーブーケや会場内外で装飾される国産花きを安定的に生産・供給する体制整備に向けた取組等を支援します。

補助率：定額、1/2  
事業実施主体：協議会、民間団体等

2. トルコ・アンタルヤ国際園芸博覧会政府出展事業〔新規〕 121（一）百万円  
トルコ・アンタルヤ国際園芸博覧会開催の前年度である平成27年度から出展事業計画の検討・作成、出展ブースの設計・施工、出展植物の調査・調達等を行います。

委託費  
委託先：民間団体等

### (関連対策)

- 国産花きのシェア奪還・輸出拡大を支える研究開発（委託プロジェクト研究）〔新規〕  
110（一）百万円

花きの国際競争力の強化に向け、①良日持ち性、病害抵抗性等民間企業の育種を下支えする基盤的形質を有する系統、②日持ち性向上のための鮮度保持剤、梱包資材等、③栽培施設の環境制御を低コスト化するための技術の開発・改良を行います。

委託費  
委託先：民間団体等

お問い合わせ先：

生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室（03-6738-6162）

関連対策

技術会議事務局研究統括官（食料戦略、除染）（03-3502-2549）

# 国産花きの生産・供給対策

平成27年度予算概算決定額  
654(500)百万円

○国産花きの生産・供給体制を強化するとともに、国内外に高品質な国産花きをアピールすることにより、国産花きのシェア奪還と輸出拡大を図る。

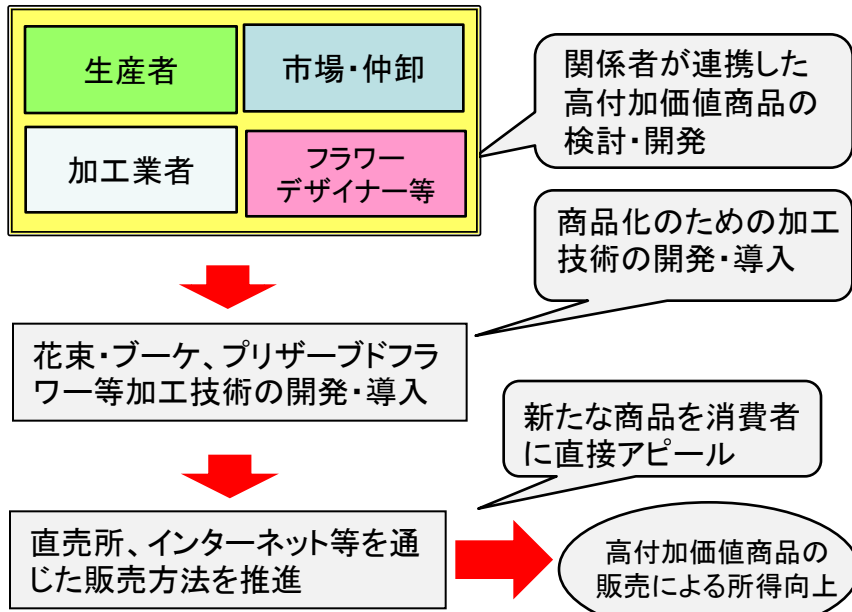
## 国産花きイノベーション推進事業

【532(500)百万円】

### 【拡充分：広域連携による花き加工流通の実証】

広域連携による安定供給と鮮度保持に重点をおいた加工・販売を検証するために必要な機材の導入や普及に要する経費を支援。

- 需要拡大や輸出促進のため、生産者・市場・仲卸・加工・小売業者等で構成する県域を超えた協議会等で実施。
- 産地と加工業者等の連携による加工技術の向上と新たな付加価値の創出。



### 【オリンピック・パラリンピック フラワー安定供給対策】

- 夏場の安定供給のための検討会の開催。
- 安定的に生産・供給できる体制整備。
- 東京大会のシミュレーションとして、ビクトリーブーケの輸送・保管技術の実証等を実施。



## トルコ・アンタルヤ国際園芸博覧会政府出展事業 (新規)

【121(-)百万円】

平成28年にトルコにて開催される国際園芸博覧会への政府出展に向けた準備、運営・管理。

- 【平成27年度】政府出展事業計画の検討・作成等
- 【平成28年度】展示会場の運営・管理等



### (関連対策) 国産花きのシェア奪還・輸出拡大を支える研究開発(新規)

平成27年度予算概算決定額 110(-) 百万円

- 花きの国際競争力強化に向け、
- ①民間企業の育種を下支えする基盤的形質を有する系統
  - ②日持ち性向上のための鮮度保持剤、梱包資材等、
  - ③栽培施設の環境制御を低コスト化するための技術の開発・改良。

日持ちがよいカーネーション品種(写真は18日経過後) →

